

# 市政メールモニター第16回アンケート結果

生涯学習について

実施期間 平成23年1月17日(月)～1月24日(月)

メールモニター登録者数 148人

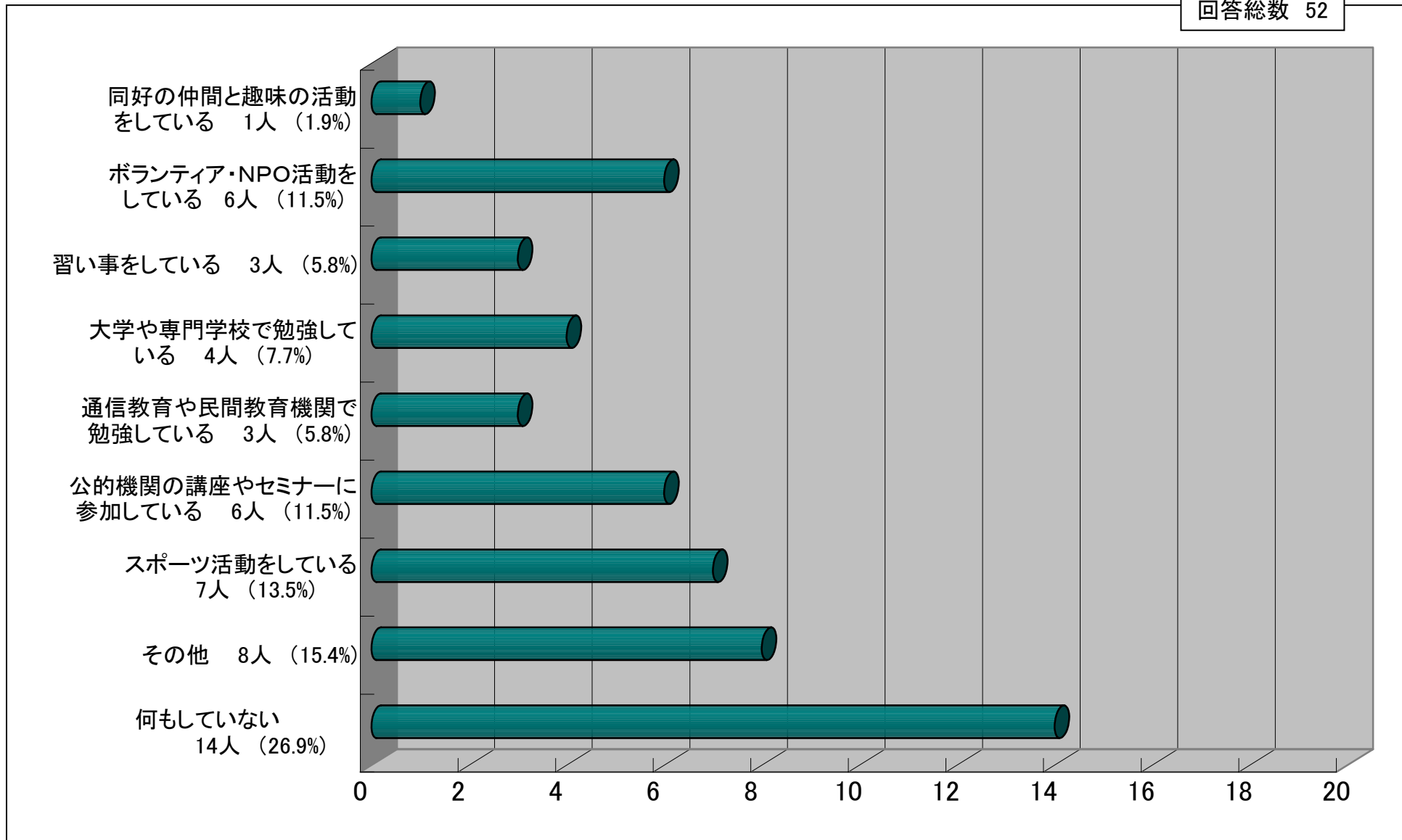
回答者数 52人(回答率35.1%)

<性別>	人数	
男性	36	69.2%
女性	16	30.8%
未回答	0	0.0%
合計	52	

<年齢>	人数	
10歳代	1	1.9%
20歳代	3	5.8%
30歳代	12	23.1%
40歳代	10	19.2%
50歳代	13	25.0%
60歳代	8	15.4%
70歳以上	5	9.6%
未回答	0	0.0%
合計	52	

【設問1】 あなたの行っている『生涯学習活動』のうち、主な活動(一つ)について伺います  
それは、どのような活動ですか？ (1つだけ)

回答総数 52



【設問1の2】 設問1で「その他」をお選びの方に伺います。その活動を次にご記入ください。

その他活動の回答

---

独学してる

---

教育の講師、講演をしている

---

魚の生態の研究と利用

---

日々の生活の中で聞いたり見たり考えたり感じたりすること

---

同窓生と勉強会を開いている.

---

読書

---

某大学の通信学部の学生として、この8年程学び続けている。大学としては、3校目である。

---

【設問2】 あなたは、生涯学習に対して、市に何を期待しますか。ご意見をご記入してください。

## その他活動の回答

---

アンケート等々を実施し、興味の湧くようなテーマの講座やセミナーを開き、参加する市民を増やす。もしくはその手助けをしてほしい。

---

年齢層や性別を限定したものではなく、幅広い市民が参加できるセミナー等を企画してほしい。ファミリーで学ぶ(アウトドア教室や音楽教室、体操教室など)セミナーもぜひ企画してほしい。

---

少子化の中で子育てに役立つ事業に力を入れて欲しい。

---

学習項目は沢山あるので、市には何もしていない人に対してリーダーシップを発揮してもらいたい。住民にまかせると結局やる人だけのものになってしまう。

---

高齢者 & 子育て事業に関する事業は充実していると思います。その中間層はちょっと置き去り？

---

仲間づくりができるような講座などの企画

---

パソコンが趣味で現在民間教室で勉強中です。出来ればパソコンについても生涯学習として市主催で教室を開いて下さい。お願いいたします。

---

誰でも気軽に参加できるイベントどんどん 開催してほしい これからも――

---

一人だとなかなかできないので、サークルや教室などの機会を作っていただきたいと思います。

---

啓蒙活動の充実

---

公民館やコミセンを活用した講座や講演会市民企画講座の充実

---

週1回でもいいので、無料の英会話などがあると嬉しいです。諸外国では英会話がとても進んでいると思います。日本は公用語にとっても疎い気がします。外国人のために無料で日本語教室を開いている自治体もある(多摩市もあるのか知りませんが…)中で、市民にも無料で公用語を身につけるきっかけがあってもいいのではないかと思います。

---

貧乏人に人気がある生涯学習には税金を投入して、貧乏人に生涯学習を受けさせやすい環境を作りだしてあげること

---

---

若者向け 夜間や休日の講座 料金が安い オーパの上の場所での開講 講師が著名

---

生活に密着したテーマの講座を安価で提供していただけるとよいです。(高齢者向けのPC講座とか)

---

垣根を低くした上で、知的好奇心と学んでいるという実感の得られる学習機会を提供してほしい。  
そして、生涯学習として、発展性も備えたカリキュラムも用意して頂けたらと思います。

---

現在、妻を介護中で自分個人の時間を殆ど取ることができない。在宅でできるような企画があれば参加したい。

---

社会的に必要なことにつき、一歩か二歩、世間を先導する形で、かつ、興味が湧くように市民に提起すること。

---

働いていても参加しやすい時間帯にして欲しい

---

多摩市と近郊自治体地域には大学が沢山在るので、これら大学と連携して市民学校を開設して頂きたい。  
また、市民を先生にした教室も小学校中心に地域密着で開設して欲しい。

---

市は、当市の場合、民間団体との協働事業での支援を、行った方が、良いのではないのでしょうか？  
各地にコミセンも有り、民間、大学の支援活動を、行った方が、市民の要望に答えられると思います。

---

若い世代の雇用につながるような、資格取得に向けた講座などを大学等と連携し行って頂けることを期待します。

---

「生涯学習」は、仕事を持つ社会人やリタイヤした高齢者などを対象とした学習と考えがちですが、広義では子供たちが受けている「学校教育」も含まれるのではないのでしょうか。市としてこの双方の交流・連携に取り組んでいただけたらと思います。

---

極端な言い方になるかもしれませんが、趣味や教養を高める、と悠長なことを言える人はごく限られた方に過ぎないと思います。  
世の中は長期に渡る不況で、失業ばかりでなく、就職することもできないばかりか、高校・大学などの高等教育を断念するケースも少なくありません。老後への不安も高まります。  
その中で、生涯学習の意味合いも大きく変化して来たと思います。  
資格や技術の習得と同時に、世の中で暮らして行けるような広い意味での支援という側面を持たなければ、いつまでも一部の人のものだけになるでしょう。そのあたりを広く市民の意見を

---

特にありません

---

個人が行なうもの。行政が積極的に関与する必要はないと思います。

---

---

年金生活に入ってから、社会的動物を止めてしまう高齢者の認知症防止のため、学習の場を市が運営したり、補助金を出すのではなく、既成にあるものに導くだけをする。

---

とくになし。

---

生涯学習活動を広めるために、市は各団体がどのような活動をしているかを広報やHP等でもっと情報を発信してほしい。  
また、地元の大学生などが小・中・高校生に勉強を教えるなどの活動(広い意味で生涯学習)も全国で行われているので、市内の各学校と連携して放課後や土日に実施することを検討してほしい。  
塾や予備校に通えない学生を受け入れてほしい。土曜日の授業も一部の学校で復活しているようだが、学校の先生の負担は増していると思われる。  
大学生などをティーチング・アシスタント(TA)として活用(アルバイトとして雇用)してほしい。

---

周りを見回すと、定年退職された方でいろいろな趣味・特技・経験をお持ちの方が埋もれている。  
市は場所の提供さえできればいい。後は、その場所を簡単に誰でも利用できる仕組みが市民に共有され、埋もれた才能を持つ人が活発に、気楽に、手軽に、ボランティア活動でコミュニティに還元できる機会を作れる環境さえあればいい。  
そんな場所の提供・開放があれば十分と思う。要は今あるコミュニティーセンターの活発な利用を促すことを考えればいいと思う。  
言い換えれば、既存のコミュニティーセンターは果たして十分利用されているか？いなければ何がその障害になっているのか？それをもう一度原点に戻って考えればいい。  
以前オーストラリアのシドニーに数年住んだことがあり、家内がボランティアでフラワーアレンジメントや・パン作り・中華料理の料理教室などに材料費負担で参加していたが、場所はコミュニティーセンターのようなものだった記憶がある。施設使用料は各同好会の会費でメンバーが負担していた。

---

競技、練習、習得、会合などを行う設備の充実や初心者を導入し易い環境整備。

---

情報提供、情報を知らせる場の提供、生涯学習について知識と経験を持ったリーダーの派遣、そうしたリーダーの養成、生涯学習のコーディネーター役

---

図書館、会議室、球戯場などの提供および駐車場や交通ルートの確保老人大学など、より高度な教育機関の設置

---

参加しやすい環境、時間帯、場所、種別、などを整えること

---

場所の提供

---

図書館が生涯学習に対してコーディネート機能を発揮すること。

---

---

活動するための施設の充実。私はテニスをしているのでコート施設の充実を図ってもらいたい。  
照明施設が古くなっており、新しいものに変えてもらいたい。

---

市民の手助けをお願いします。具体的にはあてがいの「講座」などではなく、自主的なサークルなどに対しての「活動場所の確保」や、個人でそれぞれ学んでいる人たちに対しては図書館をはじめとして、「自習場所の確保」をお願いしたいです。

---

駅近に会議室等場所の提供。

---

図書館施設の充実と、閉館時間の延長

---

生涯学習活動への補助、もしくは市民税からの控除

---

生涯学習の色々な体験の場を提供

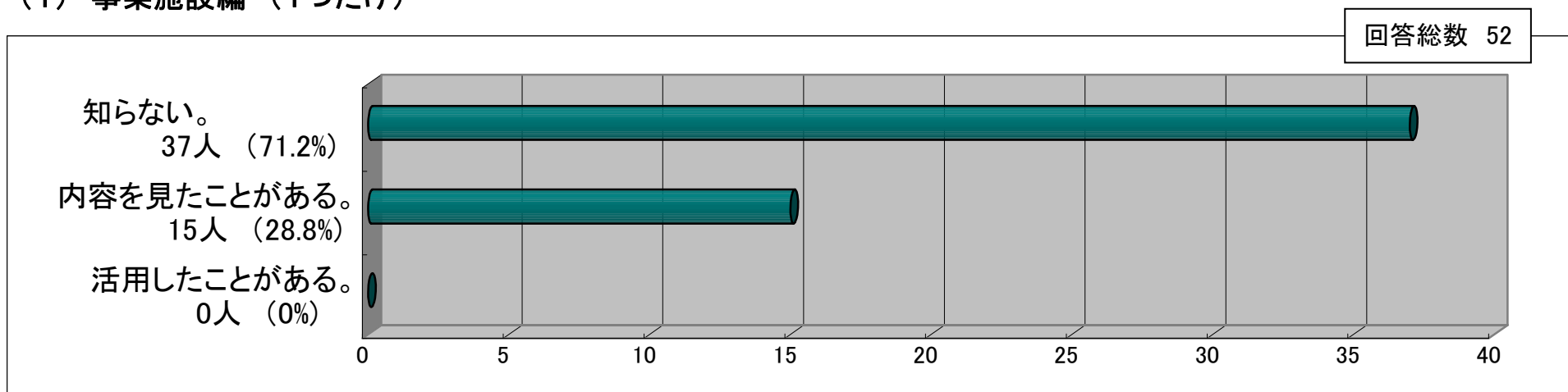
---

情報の発信・更新。公共施設の有効提供。

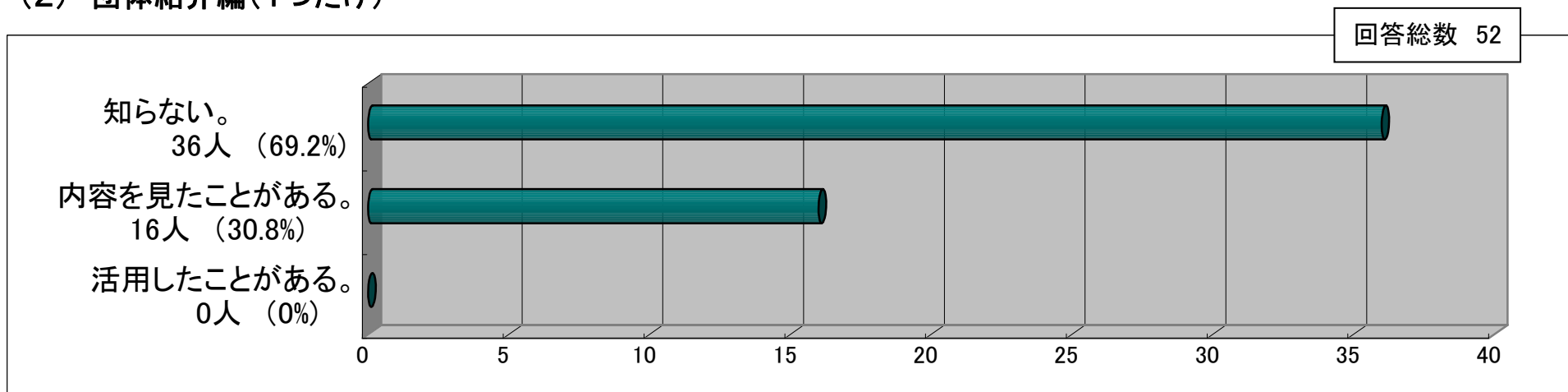
---

【設問3】 あなたは地域デビュー手引書2010年版－「事業・施設編」と「団体紹介編」を見たり、活用したことがありますか。

(1) 事業施設編（1つだけ）

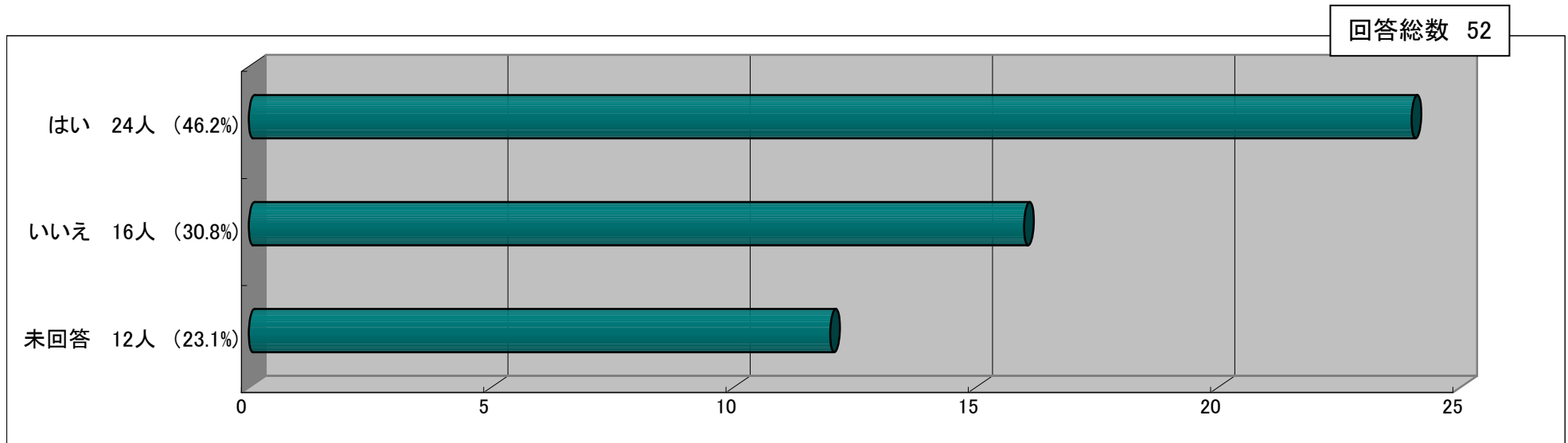


(2) 団体紹介編(1つだけ)



(1)(2)で「知らない」とお答えされた方にお伺いいたします。

**【設問4】** 地域デビュー手引書2010年版－「事業・施設編」や「団体紹介編」の内容をみて活用してみたいですか。(1つだけ)



## 【設問4の2】 【設問4】で「はい」・「いいえ」とお答えされた理由をご記入してください

---

地域デビューの実際の仕方がわからないので。

---

地域デビュー手引書2010年版-「事業・施設編」や「団体紹介編」というものがどのようなものなのか？詳細がわからないので、返答の仕様が無い。

---

どのような内容か気になるので

---

生涯学習というと、定年退職等で現役を引退した方が教養を深めるために参加することが多いが、本来は年齢に関係なく参加するものなので、若い人も多く関わっている団体を見つけて参加してみたい。

---

設問2で書いたことに関連しますが、いくら知識や技術を習得してもそれを生かす場がなければ何にもなりません。そのためには地域の活性化が必要で、市もそれなりに努力されていると思いますが、市民参加、市民の発想、活力がこれからのキーポイントになると考えます。そのためには市のバックアップが必要であることは言うまでもありません。市の広報は必ず目を通していたつもりですが、このような資料があることはまったく気がつきませんでした。もっと広く活用できるようにしていただければと思います。

---

知らないことには何もはじまりません。

---

内容の確認が難しいな

---

まず見てみないと始まらない、興味、関心をもてれば行動に移せる気がします。

---

参考にしてみたいから

---

内容把握のため。

---

例えば「パソコン」について調べたところ民間の各パソコン教室とも基本的に料金を設定し期間も短く、本格的に勉強するにはかなりの金銭負担になる。出来れば公的機関で主催して頂き料金負担もそれなりの金額で開いていただければと願っています。

---

「地域デビュー手引書」を「知らない」という人への設問でハイパーリンクなど資料閲覧の導入もなく「内容をみて活用してみたいですか」という設問に疑問を感じます。内容そのものは興味を引くようなコンテンツの整理がされておらず、ただリスト化したに等しい内容なので活動の様子が想像しにくく、実際本書を見て第三者が導入に至るか疑問があります。各コミュニティセンターなどで紙媒体からiPadなど子供からお年寄りまで触れやすい電子媒体へシフトし、より伝わりやすく見やすい方向へシフト・検討していくことも行政サービスの重要な要素だと

---

---

何かを始めるきっかけにできそうだから。

---

今まで、そのようなものがあるとは知らなかったの、読んでみて活用できれば使ってみたい。

---

見た事がないので、どんなものか見てみたい

---

今年度版は見たことがないが以前に見たものは内容がありきたりで魅力を感じなかった。  
企画として悪くはないが内容の充実が不可欠だと思う。

---

自分に合いそうな内容が掲載されているかもしれないので

---

とりあえず、よいものか悪いか見てみたい

---

興味があるものがない 怪しいかどうかわからない

---

多摩市の活動グループについて知りたいから。

---

実際は、はいでもいいえでもありません。HPで見るには量が多くて最初だけ読んで続きを読む時間がありませんでした。

---

いくつかの資格を所持しているので、それらの資格を活用しつつ、自分自身も充実した市民活動をしてみたいと思っている。

---

現状では興味がないため

---

内容を知ったうえで活用方法を相談してみたい。

---

一応、どんなものか内容を知りたい。

---

あまり興味なし

---

内容を見てもないとわからないから

---